

## 永久凍土の変動とモニタリングに関する研究集会

平成 20 年 11 月 10 日～11 日, 低温研・新棟 N213

11 月 10 日(月)

- 13:10-13:20 開会の辞
- 13:20-14:00 富士山の永久凍土‘再’発見?にむけて  
池田 敦(筑波大学)
- 14:00-14:40 永久凍土研究における衛星利用について  
原田 敏一郎(宮城大学)
- 14:40-15:20 スバルパールにおける構造土の分布について  
渡邊達也(筑波大)
- 15:20-15:50 休憩
- 15:50-16:30 移動観測による大雪山永久凍土域での気象状態の把握  
前田剛宏(北大・環境科学院)
- 16:30-17:10 大雪山平ヶ岳南方湿原のパルサの最近の変化  
曾根敏雄(北大・低温研)
- 17:10-17:50 大雪山調査とアラスカポーカフラット周辺調査の報告  
新井秀典(北大・環境科学院)
- 17:50-18:30 シベリア永久凍土の土壌水安定同位体と凍土-生態系相互作用  
杉本敦子(北大・地球環境)

11 月 11 日(火)

- 8:30-9:10 アルタイで調査したピンゴについて  
岩花 剛(北大・工学研究科)
- 9:10-9:50 昭和基地周辺と南極半島露岩域の永久凍土・周氷河地形  
福井幸太郎(国立極地研究所)
- 9:50-10:20 休憩
- 10:20-11:00 凍土の熱伝導率について  
渡辺晋生(三重大)
- 11:00-11:40 全球気候モデルにおける凍土過程・凍土分布の現状と改良  
斉藤和之(アラスカ大・国際北極圏研究センター)
- 11:40-12:20 シベリアの地温データと再解析データの比較  
末吉哲雄(東大・気候システムセンター)
- 12:20-14:00 昼食
- 14:00-14:40 アラスカ森林火災跡地でのアルベード変動について  
兒玉裕二(北大・低温研)
- 14:40-15:20 アラスカ内陸部チャタニカ谷での降雨流出観測  
石井吉之(北大・低温研)
- 15:20-16:00 国際的な凍土観測の現状  
石川 守(北大・地球環境)
- 16:10-16:20 閉会の辞